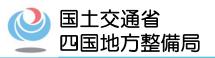


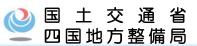
資料3

今後の取組方針



第14回 四国の港湾における地震・津波対策検討会議

今後の取組方針



令和3年度は、以下のような調査検討を進めた。

- ・<u>「航路啓開に関するアクションカード(案)」を作成</u>するとともに、机上訓練において、その有効性を確認した。
- ・実務マニュアルとして、「航路啓開の手引き(測量編)」(案)を作成した。
- ・<u>「実効性向上に向けた行動計画」において、「中期」の目標設定とした項目について、情報収集</u> 等検討を進めた。

これからも、引き続き実効性向上に向けた行動計画に基づき調査・検討を行うとともに、机上訓練等を通じて関係者との連携を図り、南海トラフ大地震等大災害が発生した時に備えていく。

- ⇒<u>「緊急確保航路等航路啓開計画の実効性向上に向けた行動計画」</u>における検討を行うと ともに、必要に応じて緊急確保航路等航路啓開計画に反映させていく。
- ⇒「航路啓開の手引き」(情報収集編、施設点検編、啓開作業編、応急公用負担権限編、測量編)について、 今後の訓練や各会議での意見を踏まえ、必要に応じて見直していく。
- ⇒関係者とともに机上訓練を継続することとし、<u>より実践的な訓練により、関係者間の連携を高め、災害時に備える</u>。
- ⇒上記の検討にあたり、<u>ワーキンググループ、机上訓練</u>、<u>検討会議</u>を開催し関係者と情報 共有、災害対応能力の向上を図る。